

1. 高規格道路ネットワークをいかした圏域づくりの研究について

研究会では、圏域 8 の字ルートができることを前提に、研究テーマを「高規格道路ネットワークをいかした圏域づくり」とし、圏域の構造、人口、産業等の姿を整理するとともに、圏域の現状、課題及び圏域 8 の字ルート整備後の影響等について圏域市長会構成市にアンケート調査を行いました。整理した圏域の姿やアンケート調査の結果を踏まえ企画・産業・観光部会を開催し議論を行い、その内容を研究会に報告し、研究会において更に議論を深め、研究結果を取りまとめました。

【研究方法】

○影響の分析

- ・圏域 8 の字ルート整備によって生じる様々な影響について、以下の 4 つの視点により整理

○目標の設定

- ・整理した影響に基づき、圏域 8 の字ルート整備後の目標とする社会像について検討

○取組の検討

- ・目標とする社会像を実現するために、圏域全体で取組むことにより生じる有効性について議論

4 つの視点

1. 移動に要する時間の短縮が、圏域の経済活動や人々の生活様式に及ぼす直接的な影響について

- ①企業誘致 ②雇用 ③物流（港湾・空港、鉄道との連携等）
④観光客滞在時間（旅行消費等） ⑤医療体制

2. B/C に現れない整備効果、交流人口の増加や災害時の安定輸送などの間接的な影響について

- ①圏域内での交流 ②圏域外との交流 ③災害時対応
④中心市街地の交通混在解消 ⑤自然環境への影響 ⑥住民生活の変化

3. 国土としての位置づけを含めた、圏域の新たなデザインについて

- ①圏域 8 の字ルート整備後の圏域の新たな位置づけ

4. SDG s、D X の推進等の現状を踏まえた、カーボンニュートラル、デジタル技術の活用について

- ①圏域 8 の字ルート整備効果を更に高める画期的な技術の影響